

令和3年度 皆野町一般会計予算大綱

令和3年3月9日
皆野町長 石木戸 道也

1 予算編成の基本的な姿勢

人口減少、少子高齢化等の従来の課題に加え、新型コロナウイルス感染症の影響も続いています。こうした厳しい状況下でも、「新しい生活様式」への対応を図りながら引き続き活気のあるまちづくりを進めていくよう、予算を編成しました。

令和3年度は、第5次皆野町総合振興計画の前期基本計画仕上げの年度となるため、引き続き、各分野の取組を着実に実施していきます。

これにあわせ、よりよい住民サービスを提供するため、組織機構改革を実施します。従来、力を入れてきた子育て支援や健康・福祉政策を強化するため、健康福祉課を「福祉課」と「健康こども課」に再編します。また、移住・定住を促進するため、新たに産業観光課に「移住定住促進担当」を設置します。更に、政策立案・実行力強化のため、財政部門をみらい創造課に移管し、企画・財政部門の連携をより一層強化します。

令和3年度は、こうした新たな体制により、「住んでみたいまち、住み続けたいまち、ときめきの皆野」の実現をめざします。

2 予算規模

令和3年度当初予算	歳入歳出総額	4,189,000千円
令和2年度当初予算	歳入歳出総額	4,179,700千円
	比較	+9,300千円

3 重点施策の柱

「住んでみたいまち、住み続けたいまち、ときめきの皆野」の実現のため、以下の6点を柱にして取り組みます。

- I 楽しく子育て・元気で長生き対策
- II 教育・文化・スポーツの推進
- III 環境保全、産業・観光振興
- IV 安全で快適な生活基盤の整備
- V コミュニティ活動の推進、行政基盤の強化
- VI 関係人口の創出、移住・定住の促進

4 重点施策の主な事業

重点施策に関連する主な取組と予算額は次のとおりです。

I 楽しく子育て・元気で長生き対策

○健康・福祉・子育て支援・高齢者福祉の充実

- | | |
|---------------------------------------------------------------|-----------|
| (1) こどもの医療費 | 30,000 千円 |
| 高校3年生までが対象。秩父郡市内の医療機関で受診した場合は窓口払いなし。 | |
| (2) 学童保育所保護者負担金補助金 | 1,800 千円 |
| 町民税非課税世帯、生活保護世帯及び第3子以降の保育料相当額（月額6,000円）を助成。 | |
| (3) 子育て応援 | 1,980 千円 |
| 新生児の誕生月から1歳の誕生月まで、毎月紙おむつ2パックまたは粉ミルク1缶を支給。 | |
| (4) 出産褒賞金 | 2,800 千円 |
| 第1子：3万円、第2子：5万円、第3子以降：10万円 | |
| (5) 不妊治療費助成 | 2,960 千円 |
| 不妊治療や不妊検査の治療費の一部を助成。平成30年度から特定不妊治療の助成上限額を10万円から35万円に拡大している。 | |
| (6) 新生児聴覚検査 新規 | 240 千円 |
| 新生児聴覚検査の初回検査費用を助成。
新生児の聴覚障害を早期に発見することで、音声言語発達等への影響を最小限にする。 | |
| (7) 長寿祝金 | 9,060 千円 |
| 80歳・85歳・88歳・90歳・95歳・99歳・100歳になるかたに長寿祝金を支給。 | |
| (8) 高齢者外出支援タクシー利用料金助成金 | 1,800 千円 |
| 町内全域の利用を対象として「お出かけタクシー利用券」を配付。 | |

○健診受診率の向上・生活習慣病とフレイル*対策の充実強化

- | | |
|-----------------------------------------------------|-----------|
| (1) 住民健診・がん検診 | 23,045 千円 |
| 健診を無料で実施。 | |
| (2) 妊婦健診 | 5,330 千円 |
| 妊婦健診費用を14回分助成。
助成券は母子健康手帳と同時に交付。 | |
| (3) 産後健診 | 250 千円 |
| 産後ひと月までに実施する産後健診費用を助成。 | |
| (4) 乳幼児健診 | 3,369 千円 |
| 乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診のほか、育児相談等を実施。 | |
| (5) 糖尿病早期発見・重症化予防 | 215 千円 |
| HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）測定費用の一部を助成。薬局への測定機器設置費用の一部助成も実施。 | |

*フレイル：健康と要介護の間にある心身の調子が崩れた状態

II 教育・文化・スポーツの推進

OGIGAスクール構想に係る教育の充実

- (1) ICT 活用授業技法アドバイザー業務委託料 5,830 千円
児童・生徒への1人1台タブレット配備に合わせて教員が効果的な授業手法等のアドバイスを受け、タブレットの活用効果を高める。

○図書館教育の充実

- (1) 学校司書・図書支援員（会計年度任用職員）の配置 **増員** 2,413 千円
各校図書室の効果的な活用を推進するため、図書支援員を1名増員。
- (2) 公民館図書室 図書管理システム導入 **新規** 573 千円
蔵書をデータベース化することにより、貸出管理の効率化を図る。
また、学校図書館との更なる連携を図る。

○学力向上の推進、キャリア教育・グローバル教育の推進

- (1) 学力向上推進事業 462 千円
より高い教育水準を確保するため、学校の教員向け研修等を実施。
- (2) 英語検定受検料補助 **拡充** 1,335 千円
対象を、従来の中学生のみから小学校6年生～中学生に拡大。
- (3) 秩父地区中学校長会学力テスト成績処理手数料 **拡充** 182 千円
中学3年生が年2回受験する学力テストの成績処理手数料について、従来、1回分は保護者負担だったものを、全額町負担とする。
- (4) 実践的英語教育・交流事業（早稲田大学連携事業） 219 千円
早稲田大学で受け入れている海外からの留学生と中学生との国際交流イベントを実施。
- (5) 早稲田大学所沢キャンパス文化祭出展（早稲田大学連携事業） 170 千円
早稲田大学所沢キャンパス文化祭に出展し、町のPRを実施。
また、児童・生徒が大学の授業やキャンパスツアーを体験。

○生涯スポーツの振興

- (1) 柔剣道場柔道場畳入替工事 5,492 千円
平成5年開館時から使用してきた畳が経年劣化しているため、抗菌化加工が施された畳に入れ替える。
- (2) スポーツ公園野球場防球ネット改修工事 10,340 千円
ボール規格変更によりボール飛距離が伸びたことから、ネットを増設して場外へのボール飛び出しを防止する。

Ⅲ 環境保全、産業・観光振興

- | | |
|----------------------------------------------------------------|-----------------|
| (1) 親鼻河原観光トイレ環境美化工事 新規 | <u>2,102 千円</u> |
| 令和 2 年度に建設した観光トイレ周辺を整備し、親鼻河原周辺の観光を促進。 | |
| (2) 観光トイレ洋式化工事（中三沢、八幡神社） 新規 | <u>1,346 千円</u> |
| 天空のポピーやハイキング等、年間を通じて利用が多い三沢地区の観光トイレの便器を洋式化。 | |
| (3) 秩父音頭まつり補助金 増額 | <u>4,200 千円</u> |
| 令和 3 年度は開催できるよう、例年の 4,000 千円に加え、新型コロナウイルス感染症対策費用として 200 千円を増額。 | |
| (4) ふれあいまつり補助金 増額 | <u>1,500 千円</u> |
| 秩父音頭まつり同様、例年の 1,400 千円に加え、新型コロナウイルス感染症対策費用として 100 千円を増額。 | |
| (5) 有害鳥獣対策 | <u>2,905 千円</u> |
| 有害鳥獣駆除委託料、防護柵等設置費補助金、捕獲従事者補助金等。 | |

Ⅳ 安全で快適な生活基盤の整備

○緊急車両通行不能路線の解消、宅地造成誘導道路の整備

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| (1) 道路・橋りょう維持・整備事業 | <u>181,608 千円</u> |
| 町道の道路改良、舗装補修工事、橋りょう点検、道路後退等を実施。 | |
| (2) 宅地開発促進事業補助金 | <u>1,000 千円</u> |
| 宅地開発をする者に対し、1 区画あたり 200 千円の補助金を交付。 | |

○行政区と連携した地域防災体制の構築

- | | |
|----------------------|---------------|
| (1) 自主防災組織補助金 | <u>150 千円</u> |
| (2) 自主防犯パトロール団体資機材整備 | <u>220 千円</u> |

Ⅴ コミュニティ活動の推進、行政基盤の強化

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| (1) コミュニティ協議会補助金 | <u>574 千円</u> |
| (2) 第 5 次皆野町総合振興計画後期基本計画策定 | <u>1,277 千円</u> |

Ⅵ 関係人口の創出、移住・定住の促進

- | | |
|----------------------------------------------------------|------------------|
| (1) 地域おこし協力隊活動（移住促進分野） | <u>10,211 千円</u> |
| 移住希望者へのサポート等で活動。2 名を採用予定。 | |
| (2) 移住等支援金制度 < 県補助事業 > | <u>2,000 千円</u> |
| 東京圏に 5 年以上在住していて、町内へ移住し、起業したかたや県指定の中小企業に就業した方に対して支援金を支給。 | |
| (3) UIJ ターン支援金 | <u>500 千円</u> |
| 東京圏に 4 年以上在住していて、町内へ移住し、起業または就業したかたに対して支援金を支給。 | |

5 一般会計予算の概要

(1) 歳入

○自主財源

前年度当初予算と比較して 108,045 千円減額の 1,406,643 千円を計上し、歳入全体に占める割合は 33.6%となりました。

減額の主な要因は、町税の減額（△70,766 千円）です。町税の中でも、固定資産税の現年課税分が前年度と比較して 32,013 千円の減額となっています。これは、新型コロナウイルス感染症による中小事業者等の固定資産税の軽減や、地価の下落等による評価額の減によるものです。

○依存財源

前年度当初予算と比較して 117,345 千円増額の 2,782,357 千円を計上し、歳入全体に占める割合は 66.4%となりました。

増額の主な要因は、町債の増額（+77,200 千円）です。国の予算における臨時財政対策債の増を受けて借入見込額を増額したほか、上水道広域化施設整備事業出資のための衛生債を前年度より 18,900 千円多く計上したことによるものです。

○主な費目の概要

款 1 町税

前年度から 70,766 千円減額の 994,402 千円を計上しています。新型コロナウイルス感染症による中小事業者等の固定資産税の軽減や、税制改正による法人税割税率の引き下げが主な要因です。

款 7 地方消費税交付金

県から示された交付見込額を踏まえ、前年度から 4,000 千円減額し 228,000 千円を計上しています。うち、一般財源分と社会保障分、それぞれ 114,000 千円ずつを見込んでいます。

款 11 地方特例交付金

前年度から 13,162 千円増額の 16,225 千円を計上しています。令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で減収となった中小事業者等の固定資産税の軽減分補填等のため、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金分として、7,120 千円を見込んでいます。

款 12 地方交付税

前年度から 32,283 千円増額の 1,531,025 千円を計上しています。新型コロナウイルス感染症の影響により地方税等が大幅な減収となる中、地方公共団体が行政サービスを安定的に提供しつつ、防災・減災、国土強靱化の推進などの重要課題に取り組めるよう、国の予算における地方交付税総額が増額となったことを受け、交付見込額を増額しました。

款 16 国庫支出金

前年度から 3,284 千円減額の 381,432 千円を計上しています。減額の主な要因は、児童手当国庫負担金の減（△6,733 千円）や、前年度の国神小学校・三沢小学校におけるトイレ洋式化工事に係る学校施設環境改善交付金（12,235 千円）の皆減によるものです。なお、国庫支出金の中でも最も額が大きい障害者自立支援給付費国庫負担金については、前年度から 10,758 千円増額の 124,478 千円を見込んでいます。

款 17 県支出金

前年度から 1,520 千円増額の 289,360 千円を計上しています。令和 3 年度は衆議院議員の解散総選挙が予定されていることから、衆議院議員総選挙執行委託費交付金として 5,766 千円を計上しています。

款 19 寄附金

ふるさと納税について、実績を踏まえて前年度同額の 6,000 千円を計上しています。

款 20 繰入金

前年度から 34,737 千円減額の 176,944 千円を計上しています。内訳は、公共施設整備基金繰入金 54,794 千円、図書購入基金繰入金 1,000 千円、財政調整基金繰入金 121,150 千円です。公共施設整備基金繰入金は、皆野幼稚園屋上防水工事費や、スポーツ公園野球場防球ネット改修工事費等に充当します。

款 23 町債

普通交付税の代替財源である臨時財政対策債 164,600 千円と、上水道広域化施設整備事業出資のための衛生債 90,700 千円を計上しています。また、河川の浚渫工事の財源として、5,000 千円の土木債を計上しています。

(2) 歳出

款 1 議会費

前年度の議場映像配信・録音設備 デジタル配信工事費が皆減となったことから、前年度と比較して 1,135 千円の減額の 72,863 千円を計上しています。

款 2 総務費

前年度から 11,859 千円増額の 562,929 千円を計上しています。県市町村総合事務組合退職手当特別負担金が前年度に比べて 7,719 千円増額の 9,327 千円となっていることや、通知カード・個人番号カード関連事務委託料が 6,138 千円増額の 6,919 千円となっていることが主な要因です。

款 3 民生費

前年度から 22,908 千円増額の 1,338,835 千円を計上しています。障害者自立支援給付費負担金、障害児給付費等負担金等、社会保障経費の増大が主な要因です。

款 4 衛生費

前年度から 231,064 千円増額の 594,788 千円を計上しています。機構改革により、皆野・長瀬下水道組合公共下水道負担金（194,165 千円）が土木費から衛生費に計上替となったことや、秩父広域市町村圏組合への上水道広域化施設整備事業出資金が前年度に比べて 18,900 千円増額の 90,700 千円となっていることが主な要因です。

款 5 労働費

住宅リフォーム資金助成金や労働関係団体負担金等、前年度とほぼ同様の 2,616 千円を計上しています。

款 6 農林水産業費

前年度から 1,694 千円減額の 87,873 千円を計上しています。林道整備に係る測量設計調査委託料が 9,868 千円減額になるほか、前年度に計上していた山村生活安全対策工事費の皆減が主な要因です。

款 7 商工費

前年度から 33,156 千円減額の 46,972 千円を計上しています。前年度の日野沢川ふれあい広場整備工事費や親鼻河原観光トイレ新築工事費が皆減となったことや、企業誘致奨励金が減額となったことが主な要因です。

款 8 土木費

前年度から 213,100 千円減額の 256,786 千円を計上しています。機構改革により、土木費に計上していた皆野・長瀬下水道組合公共下水道負担金が衛生費に計上替となったため、大幅な減額となっています。

款 9 消防費

前年度から 3,003 千円増額の 251,913 千円を計上しています。消防団員用活動服の更新及び女性消防団員用制服の新調費用 4,752 千円や、大淵地内防火水槽蓋掛け工事費 2,000 千円が主な要因です。

款 10 教育費

前年度から 7,997 千円減額の 626,214 千円を計上しています。減額の主な要因は、国神小学校・三沢小学校におけるトイレ洋式化工事費や、マレットゴルフ場新設工事費の皆減によるものです。

款 12 公債費

前年度から 5,148 千円減額の 331,012 千円を計上しています。減額は、平成 27 年度に借り入れた消防団施設整備事業債等、過去の起債の償還完了によるものです。

6 基金残高

(単位：千円)

基金名	令和 2 年度末 現在高 (見込)	令和 3 年度中の増減		令和 3 年度末 現在高 (見込)
		積立額	繰入額	
財政調整基金	504,021	2,008	121,150	384,879
減債基金	448,096	99		448,195
災害見舞基金	7,525	100		7,625
地域福祉基金	200,117	27		200,144
公共施設整備基金	531,555	12	54,794	476,773
ふるさと水と土保全対策基金	2,046	1		2,047
図書購入基金	4,346	1	1,000	3,347
学校教育施設整備基金	2,525			2,525
森林環境整備基金	7,690	3,946		11,636
合計	1,707,921	6,194	176,944	1,537,171

※千円単位で表示する都合上、合計欄の額が各基金の額を足したものと合わない場合があります。